

校長通信（第7号）

令和7年3月7日
東京都立田無高等学校
校長 長嶋 浩一

第40回卒業式校長式辞

梅の花が膨らみ始め、春のやわらかな息吹が空気を満たすこの良き日に、東京都立田無高等学校第40回卒業式にて皆さんの新たな門出を祝福できることは、私共教職員にとってこの上ない喜びです。

本日は、多数の保護者の皆様及びご来賓の皆様の御列席を賜り、誠にありがとうございます。特に保護者の皆様にとっては、お子様の御卒業の日を迎え、喜びもひとしおのことと存じます。本日まで本校の教育活動に深い御理解と御協力を賜りましたことを、教職員を代表して心より御礼申し上げます。

只今呼名のあった300名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんは、令和4年4月7日に本校の第40期生として本校に入学しました。中学校時代には、コロナ禍による影響を大きく受け続け、授業における対面の活動や、従来行われていたはずの修学旅行、運動会、合唱コンクール等の学校行事の実施には制限を受けていたことでしょう。高校に入学してからも様々な制限がある中で、工夫を余儀なくされたことは言うまでもありません。見習うべき手本もなく、十分な経験もない中、この3年間で皆さん一人一人が新たな人間関係を構築し、「今この状況で何ができるのか」をしっかりと考え、実践に移してきたことに深い感銘を覚えています。

本校では、校訓である「叡智・敬愛・剛健・自律」の実現を目指し、次の4点を重視した教育活動を行っています。

第1に、一人一人の個性を尊重し、才能を最大限に引き出そうとしています。また、知識だけでなく、創造的な思考力を育むことも大切であると考えています。

第2に、思いやりと協力の精神を培うことに力を入れています。なぜなら、お互いが協力し合うことで、より良いコミュニティを築くことができるからです。他者を尊重し、思いやりの心をもつことは、社会で生きる上で欠かせないスキルとなります。

第3に、身体を鍛えるとともに、たくましく豊かな情操を養っていかうとしています。健康な身体を維持することは、健全な精神を育む基盤となります。また、情操教育を通して、感受性豊かな人間を育てることも本校の重要な役割であると考えています。

第4に、自ら正しく判断し、勇気と責任ある行動のできる人間を育てようとしています。自律的に考え、行動する力を養うことは、将来のリーダーシップにも繋がります。正しい判断力と責任感をもつことが重要です。

そして、卒業までに身に付けるべき資質・能力として次の2点を掲げ、皆さんの育成に努めてきました。

第1に、「高度な情報を管理する能力や自他を尊重し、社会に貢献しようとする意欲」です。情報管理能力は、デジタルの時代において大変重要です。また、自他を尊重し、社会に貢献しようとする意欲は、持続可能な社会を築くために欠かせない要素となります。

第2に、「常に変化し続ける社会における様々な状況の中で、的確に状況を判断し、未来を切り拓く能力」です。変化の激しい現代社会では、柔軟な思考と適応力が

求められます。的確な判断力と未来を切り拓く力を身に付けた人間が、グローバルな舞台で活躍することができるのです。

現代社会において、AIと共存しながら「人間の強み」を発揮するためには、「文章や情報を正確に読み解き対話する力」、「科学的に思考・吟味し活用する力」、及び「価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力」が必要となります。情報の正確な理解と効果的なコミュニケーションは、AI時代においても重要です。科学的な思考力と問題解決能力は、複雑な課題に対処するために不可欠です。新しい価値を創造する力や探求心は、イノベーションを生み出す原動力となります。

そのために、本校では、皆さんの特性や興味に合わせた指導を充実させ、共に目標を設定することで、皆さんが達成感を味わいながら成長できる環境を整えてきました。皆さんは、努力が成果に繋がる経験を通じて、自信を深め、新しいことに挑戦する習慣や困難に立ち向かう力を身に付けてきたことと思います。

学業以外にも、皆さんを成長させる機会がたくさんありました。例えば、地域行事への協力や近隣の小学校、中学校、特別支援学校との交流等です。地域社会との連携を深めていく中で、地域の一員としての責任を感じ、社会貢献の意識が高まったことでしょう。また、異なる年齢層や背景を持つ人々との交流を通して、多様性を尊重し、コミュニケーション能力も向上したのではないのでしょうか。

この3年間で、皆さんは、学業を通じて自身の在り方や生き方、将来直面する様々な問題に対する向き合い方、部活動や学校行事、その他の体験活動において、多様な人々との交流を通して自分の可能性を広げ、豊かで強い生き方を学んできました。同時に、苦手なことから逃げず、自分の得意とする、あるいは興味のあることをとことん追求し、挑戦し続けてきました。そうすることで、様々な知識や技能、コミュニケーションスキル、そして「不撓不屈（ふとうふくつ）の精神」を身に付けてきたことと思います。「不撓不屈の精神」とは、おおよそ次の五点に集約されるものであると思います。

- 1 どんな困難や逆境にも屈せず自分の目標や信念を貫く強い意志
- 2 長期間にわたる困難な状況でも、諦めずに努力を続ける忍耐力
- 3 困難な状況でも前向きな態度を保ち、問題解決に向け積極的に取り組む姿勢
- 4 予期せぬ困難や変化に対しても柔軟に対応し、適応する能力
- 5 失敗や困難から学び、成長し続ける意欲

これらをもつことで、皆さんはこれからも社会における様々な困難に立ち向かい、乗り越えていくことができるでしょう。

皆さんは、変化し続ける社会の中で生きています。まだ理解や判断をしないうちに、次々と新しいものが生み出され、新しいことが起こっています。何が自分に必要なのか、何が自分にとって大切なのか、皆さん自身が自分の価値観をもたなければ、振り回されてしまうことになるでしょう。誰かの判断を待ち、言われたことをやるだけなら、性能の低いロボットと変わりません。皆さん自身が判断し、見極めていくことが必要なのです。

オンラインという言葉が頻繁に使われるようになってから5年の歳月が経ち、世の中は大きく変わりました。小中学校のすべての子供たちに一人に1台端末が貸与され、校内及び家庭における学習での活用が図られるようになりました。都立高等学校では、皆さんの入学とともに一人1台端末の購入制度が導入されました。本校でも生徒への

連絡手段、週末課題や動画の配信、調べ学習、アンケート集計、プレゼン資料のツール等として活用されています。今まで決まった会場にて対面のみで行われていた諸会議の多くが、リモートで実施されるようになり、電子データの活用によりペーパーレス化も推進されました。生成AIも普及し、様々な場面で活用が図られています。これらは既に「新しい」ことではなく、「当たり前」のこととなっています。

2026年にはAIと人間が読解力や数学的思考力のテストを受けた場合、AIが人間を上回ると予測されています。これからは、新しいものを生み出したり、周囲の人と協力して問題を解決したり、お互いに譲り合って調和を図ったりするなど、人間ならではの能力が人間の強みとなる時代です。生成AIに人間が支配されることのない時代を創ることが、皆さんの使命です。皆さんが本校の3年間で培ってきた力をフルに活用し、それぞれの未来を切り拓いていってください。

卒業生の皆さん、皆さんは今日、本校卒業生12,458人の仲間入りをしました。新しいステージに進む皆さんには、数多く挑戦すべき場面が待っています。困難に直面したときにこそ、自分を信じ、前向きに取り組むことが大切です。皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。仲間とともに築き上げてきた高校生活の財産を糧とし、それぞれの夢の実現に向け、努力を惜しまず素晴らしい未来を築いていってください。

保護者の皆様、これまでお子様を支えてくださり、心から感謝申し上げます。皆様の御支援があつてこそ、今日のこの日を迎えることができました。教職員を代表して厚く御礼申し上げます。

最後に、卒業生の皆さんの今後の御活躍と幸せを心よりお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和7年3月7日

東京都立田無高等学校 第十四代校長 長嶋 浩一